チーク調デッキ施工マニュアル

Turtle Marine

ver1.0.4

◎ STEP1　型紙の作成

型紙の良し悪しが仕上がりの良否を左右しますので、丁寧に正確に製作してください

■型紙を作成する前にデッキを綺麗に掃除し、デッキに装着している部品を予め外しておきます。

■型紙作成に必要な物

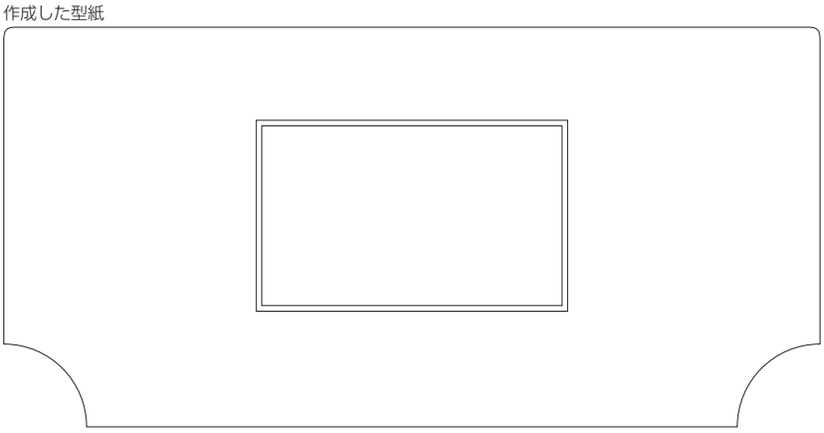
- ＊ 型紙として使用するためのマスキングペーパー、もしくはクラフト紙（デッキが大きい場合はマスキングペーパー、もしくはクラフト紙をマスキングテープでつなぎ合わせて使用します）
- ＊ マスキングテープ（1 インチ＆2 インチ程度で型紙をデッキに固定、型紙の補強、R のついた角の作成等に使用）
- ＊ はさみ、カッター
- ＊ 鉛筆、もしくはクレヨン

1. 型紙をデッキの上に被せて位置がずれないようにテープで固定します。何カ所か穴を開けてその穴からも型紙をテープで固定し、型紙が出来るだけ平坦で水平になるようにします。
2. 鉛筆でデッキの形をマークしていきます。パネルやデッキに取り付けられている部品などで切り抜く必要がある場合はハッチや部品の正確な位置を計測してマークしておきます。
3. 2 インチのマスキングテープを型紙に X 字状に貼り付けて型紙がくずれないように強度を持たせます。角が丸くなっているコーナーはおおまかにカットした後、マスキングテープで丸くなっているコーナーを作成します。

型紙作成が終わったら、型紙を作業場に移し、Nuteak パネルを作成する作業に移ります。

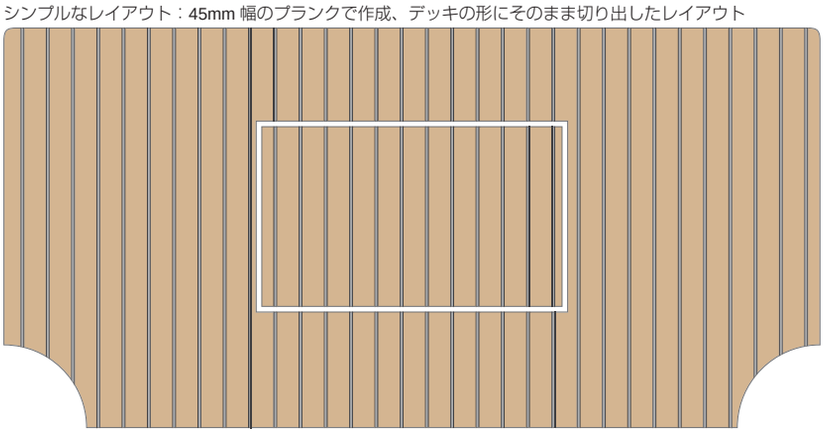
◎ STEP2　レイアウト

作成した型紙



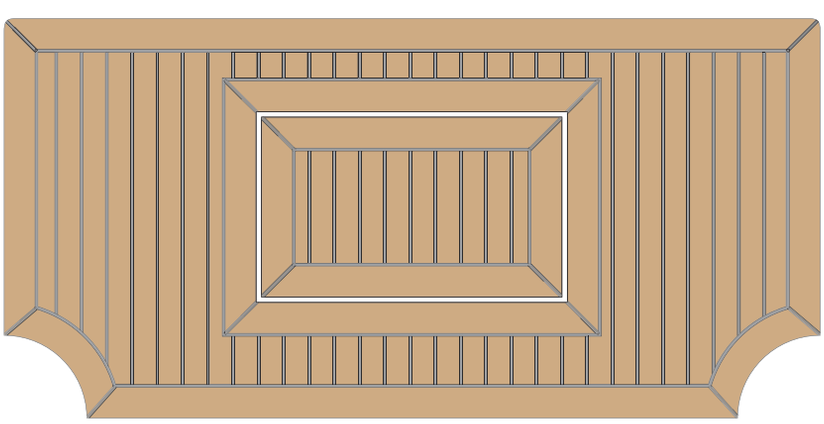
■ デッキから型紙を作成したらニューチークをどのように組み合わせてレイアウトするかを決定します。全て同じ幅のシングル / ダブルプランクを使用して作成するシンプルなレイアウトは手間もかからず使用するニューチークの種類も少ないため、費用、作業量共に少なくなります。

シンプルなレイアウト：45mm 幅のプランクで作成、デッキの形にそのまま切り出したレイアウト



■ シングル / ダブルプランクで作成したメイン部分をマージンプランク等で囲むスタンダードなレイアウトは使用するニューチークの種類も多くなり費用、作業量も増加しますが見た目が美しくなります。

スタンダードなレイアウト：メイン部分は 45mm 幅のプランクで作成、枠部分を 60mm 幅のマージンプランクとキングプランク（曲線部分に使用）で構成されたレイアウト



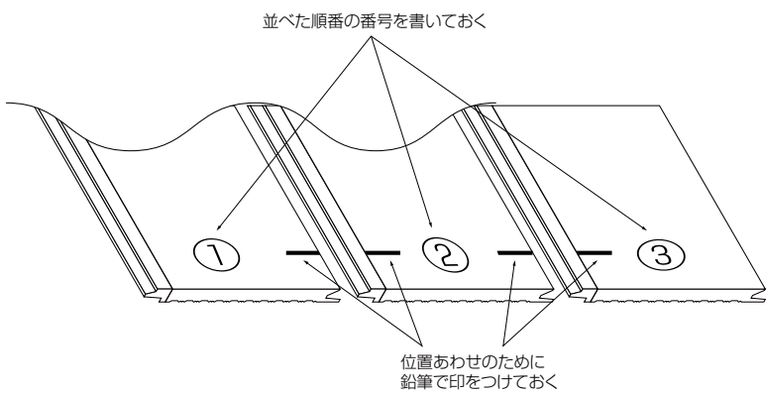
◎ STEP3　パネル作成

■パネル作成に必要な物

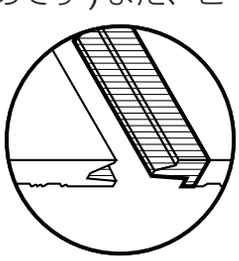
＊ ユーティリティナイフ、カッターナイフ・クラフトナイフ等（大型でグリップしやすく、刃が厚めのもの）
＊ 重しになる物（ブロック等）
＊ 万能はさみ
＊ 接着剤
＊ 定規（長さが長く、金属製の重量があるのをお薦めします）
＊ 紙ヤスリ（スポンジやすりがお薦めです）
＊ ウエス
＊ 鉛筆

◆オプション：ヒートガン、ヒーター（ニューチークのそりの修正や曲げ作業にあると非常に便利です。
特に曲げ作業には必須のアイテムとなります。）

■ STEP1 で作成した型紙にあわせておおまかにシングル、もしくはダブルプランクを型紙のマークより若干大きめに切り出します。切り出したシングル、ダブルプランクを型紙の上に並べて配置し、鉛筆で並べた順番と床材同士を合わせた位置をマークしておきます。(後でそりをなくすために床材を重ねて放置するので、床材を再び組み合わせるときの目安のため)



■切り出したフレキシブルシングル、フレシキブルダブルプランクを重ねてしばらく放置します。(ニューチークはロールの状態で工場出荷されるため、床材はそり気味になっています。その「そり」を軽減するためです) また、ヒーターやヒートガンなどで暖めることによってそりを軽減できます。


さね継ぎ部分

1. 床材同士を接着する前に床材のさね継ぎ部分にゴミ、ほこり等が付着してないかチェックし、ウェスなどでから拭きしてさね継ぎ部分をきれいにしておいてください。

2. 床材同士を接着します、さね継ぎ部分に接着剤を付けて接着し、はみでた接着剤はウエスですぐに拭き取るようにしてください。接着剤はシアノアクリレートを主成分とした瞬間接着剤をお使いください。

3. 均等な力をかけながら接着し、接着された床材が真っ直ぐになっているかチェックしながら作業してください。

型紙に合わせてメイン部分のチークに切り出す部分をマークしていく

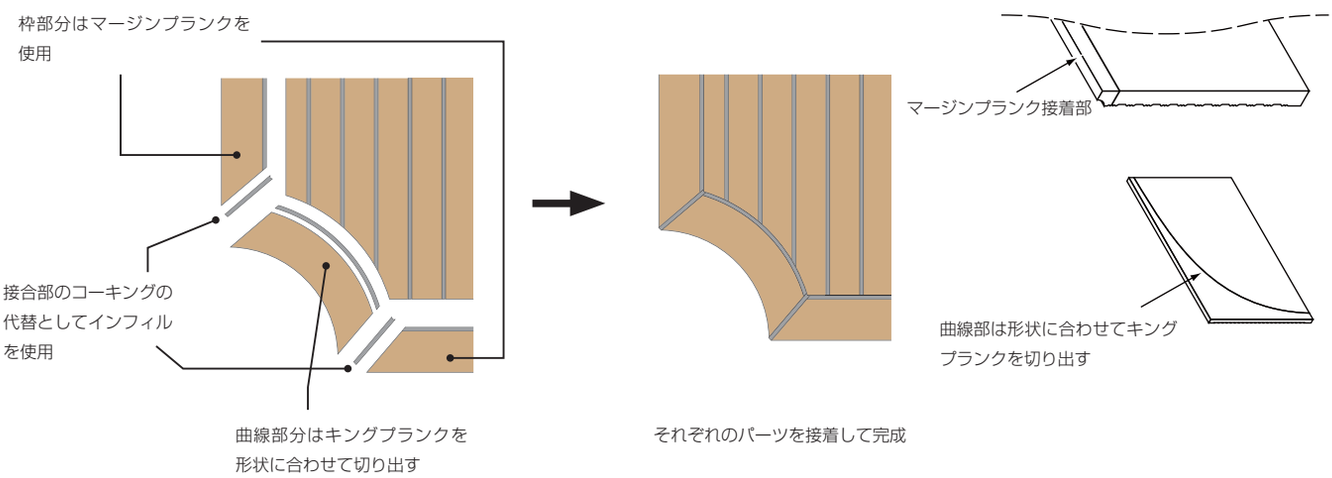
4. パネル状に床材を組み合わせ接着してしっかり接着されていることを確認してから縁の部分を切り取るために型紙に合わせて鉛筆でパネルに切り取り部分をマークしていきます。

5. フレキシブルマージンプランクを使用して縁を作成する場合、短く切り取ったフレキシブルマージンプランクを利用すると縁取り部分を描くのに便利です (タートルマリンホームページの動画を参照されるとよくおわかりになります)

6. 縁の部分を描き終わったら、その線に添ってパネルを切り出していきます。

7. 大型のカッターで曲線部分は慎重に切り出し、直線部分は大きい金属製の定規などを利用して切り出します。

■枠部分を作成する際のレイアウト



マージンプランク接着時にはメイン部分に重し（レンガ、ブロック等）を置いて反りを無くすようにしておく

8. フレキシブルマージンプランクを枠の部分として使用する場合、メイン部分で作成したパネルの上にあらかじめブロックなどを上に載せて接着部分に反りが無いようにしておきます。

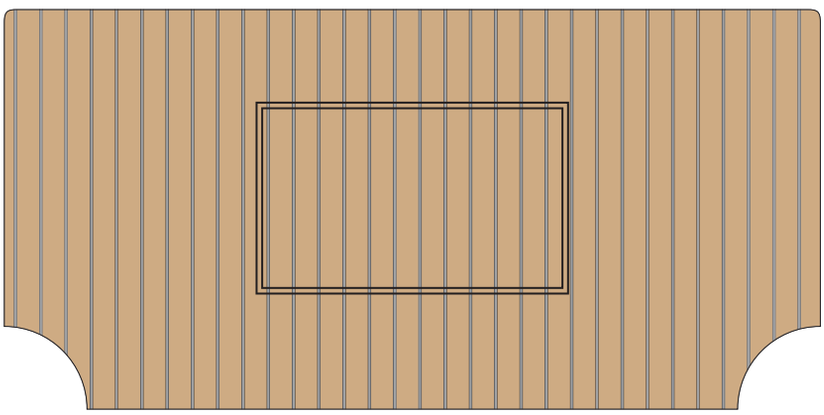
9. マージンプランクを枠としてメイン部分に接着しますがその際、はみ出した接着剤はすぐにウェスなどで拭き取ってください。

10. はみ出した接着剤が固まってしまった場合は紙ヤスリやスポンジヤスリ等で慎重に削り取ってください。

⚠ 注意 **チーク同士を接着するシアノボンドは常温で放置すると粘度が高くなり、使いづらくなるため保管の際は冷蔵庫などに保管するようにしてください。**

◎ STEP4　ハッチ部等の処理

■ 組み上がったチークをデッキに当ててみて寸法や形状に問題がないかよく確認してください。接着剤のはみ出しや汚れがある場合は紙ヤスリなどで汚れを落としてください。デッキにハッチや部品が配置されている場合は型紙を参考に組み上がったチークに正確に鉛筆でハッチや部品の形状をマークして正確に切り出します。

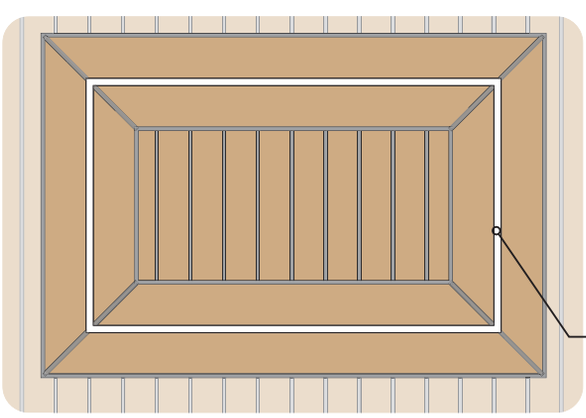


作成した型紙を参考にしてハッチ部分を鉛筆で正確にマークする

■ 枠部分を作成するスタンダードなレイアウトの場合はメイン部分の枠部分を作成した時と同様にマージンプランクとインフィルを使用してハッチの内側と外側に枠部分を作成してやります。

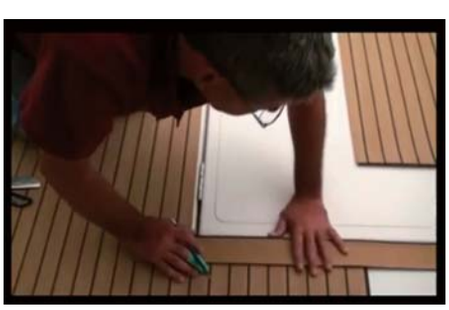
■ ハッチなどの可動部分がある場合、可動が妨げられないようにメイン部分との間に充分なクリアランスを取るようにしてください。

枠部分を作成したハッチ部



メイン部分の枠部分を作成したときと同様の手順でハッチの枠部分を作成する。
また、切り抜いたハッチ部の外側にも同様にマージンプランクで枠を作成すると見た目が美しくなります。

ハッチなどの可動部分がある場合は可動時に干渉しないようあらかじめ充分なクリアランスを取るようにしてください。



■ ハッチや部品のある場所の作成はデッキに作成途中のチークをあてながら作業する方法もあります。詳しくはタートルマリンのホームページをご覧ください。

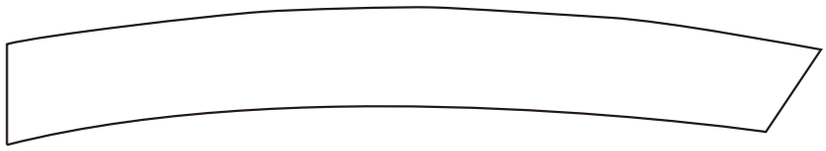
◎ STEP4　チークの曲げ作業

■ 緩い角度であればニューチークは湾曲して設置することも可能ですが、その際は型紙を正確に作成して慎重に作業するようにしてください。

■ スタンダードな組み方としては 60mm 幅のマージンプランクを外側の外周部に使用し、内側を 45mm 幅シングルプランク、90mm 幅ダブルプランクにて作成します。曲線のアールがきつい場合は曲げ加工の容易さを考慮して 45mm 幅シングルプランクを使用するようにしてください。60mm 幅シングルプランクを使用したい場合は 120mm 幅ダブルプランクは使用しないでください。（120mm 幅ダブルプランクの曲げ作業が困難なため）

■ チークを曲げる際には重量があり広範囲を抑えることのできるおもしを容易するようにしてください。また、ヒーターやヒートガンでチークを柔らかくすることによって作業が非常に容易になります。

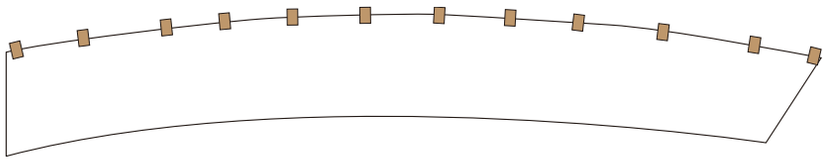
1. 曲線部分を含む型紙を正確に作成します。曲線部分のアールは出来るだけ正確にマークするようにしてください。



湾曲部分の型紙を正確に作成します。曲線部分のアール部は正確に作成してください。

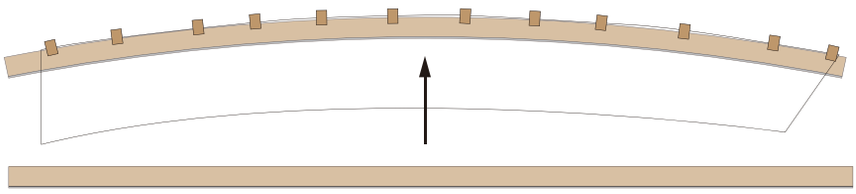
2. 作成した型紙を平坦な台の上に設置し、マークした曲線のアールにそって一定間隔でチークの切れ端を 2 枚重ねた固定具を木ネジなどで台にしっかりと固定します。（画像を参照してください）

チークの切れ端を 2 枚重ねて左の画像のような固定具を作成する。



作成した固定具を平坦なテーブルの上などに載せて固定具を木ネジなどでしっかりと固定する。（上記画像を参照してください）

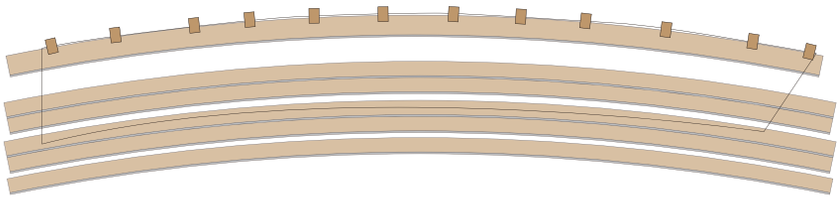
3. 固定具にチークをあてがって曲げていきます。おもしを乗せてしっかりと固定し型紙のアールにそってチークを曲げてください。



チークを固定具を利用して型紙の曲線に沿って曲げていきます。ヒートガンなどで暖めつつ曲げて重しを乗せて曲げたチークをしっかりと固定してください。

⚠ 警告　**曲げたチークを型紙の上に置いて不自然に浮き上がった部分などが無いことを確認しながら作業してください。おもしやヒートガンを使用してチークをフラットな状態にすることが非常に大切です。**

4. 内側のチークも同様に曲げていきます。外側に接するチークのアールとしっかりと重なるように慎重に作業してください。



5. 曲げ終わったチーク同士を接着していきますがその際にはみ出した接着剤はウェスなどで素早く拭き取るようにしてください。はみ出した接着剤が固まってしまった場合はチークを全て組み上げた後に紙ヤスリなどで固まった部分をこそげ落としてください。

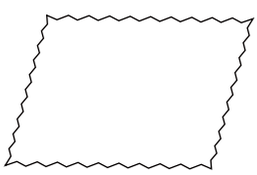
接着作業の際にはみ出した接着剤は適切に処理してください。

接着して組み上げたチークの上に重しを乗せて組み上げたチークが平坦になるようにしてください。

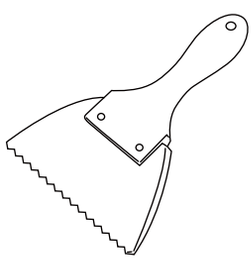
6. デッキに部品などが設置されている場合は部品の位置を正確にマークして切り抜くようにしてください。

7. 作成した型紙にあわせて組み上げたチークを切り出します。

◎ STEP5　デッキへの接着



スプレッダー（溝付）



ヘラ（溝付）

1. デッキに床材を接着する前にデッキをよく掃除して接着面のホコリやごみ、油分を取り除いておきます。

⚠ 警告　**デッキにホコリ、ゴミ、油分等が残ったままチークを接着すると完全に接着できずにチークがはがれてしまう危険があります。**

2. 作成したチークのパネルはあらかじめ丸めておきます。

3. デッキ部分にシリコンシーラントを塗りつけてのばし、丸めておいたチークのパネルを展開してデッキへと接着していきます。パネルにシリコンを塗り広げるときはヘラ、または溝の付いたスプレッダーを使うと均等に広げやすくなります。

4. はみ出した場合を考えてマスキングテープでパネルが貼り付けられる部分以外をマスキングしておくことをお勧めします。

5. デッキにパネルを接着したら、ローラーなどで使ってチークのパネルをしっかりと密着させます。その後はブロックなどの重い物をなるべく広い面積に置くか、デッキを覆える板（なるべく重量のあるもの）をチークのパネルの上に載せてその上からレンガやブロックなどの重量のあるものを重しとして置き、シリコンシーラントが完全に乾くまでそのままにしておきます。

施工例

施工例

Turtle Marine
http://turtle-marine.com

有限会社タートルマリン

〒 851-3305
長崎県西海市西彼町喰場郷 938-7
TEL ：0959-29-5055
FAX：0959-29-5566